

オリオン IoT システム リアルタイムモニタ

—もくじ—

使用上の注意	
使用上の注意.....	2
概要	
ソフトウェアの概要.....	2
前提条件.....	2
使用前の準備	
ソフトウェアをインストールする.....	2
CSV データを保存する.....	4
操作方法	
ソフトウェアを起動する.....	5
リアルタイム表示.....	6
過去データ表示.....	10
ログ保存先の設定.....	14
ログ保存先の確認.....	14
メール設定.....	14
ブラウザ閲覧設定.....	15
複数起動設定.....	16
警報数値変換.....	17
バージョンの確認.....	17
画面の最小化.....	17
ソフトウェアの終了.....	17
ログデータ.....	18
データ検出例.....	18
グラフのキーボード・マウス操作.....	20



注意

- この製品は「産業用」です。
取り扱いには十分注意してください。
- この取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

使用上の注意

使用上の注意

- 本ソフトウェアは法律により保護されています。本ソフトウェア及び取扱説明書の全部または一部を無断で複製または転載することは、禁止されています。
- 本ソフトウェアを使用して得られた結果については、いかなる内容であっても責任を負いかねます。
- 本ソフトウェアは、不備がないように注意して作成しましたが、万一不備がありました場合はご容赦いただきますと同時に、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- このソフトウェアの内容および仕様等は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

概要

ソフトウェアの概要

- オリオン IoT システム「接点状態監視ソフト」、「稼働データ収集ソフト」、「稼働データ収集ソフトFCMC55A」で収集した CSV データのリアルタイムモニタ及び過去データのグラフ表示が可能です。
- また、独自に設定した条件にデータの推移が一致するとグラフ上にマークを表示し、同時にメール送信することができます。特定のデータの安定判断、異常検出、メンテナンス時期の通知等にご利用頂けます。

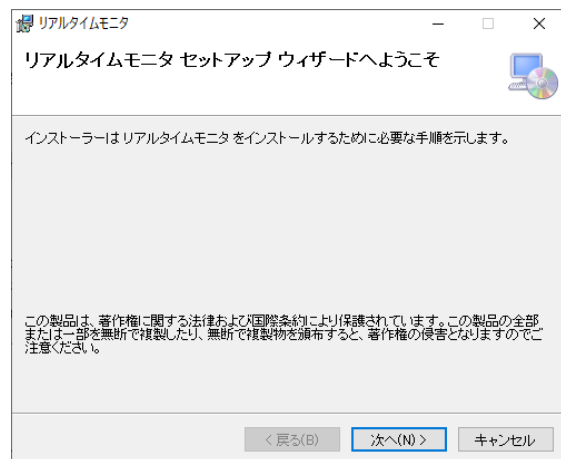
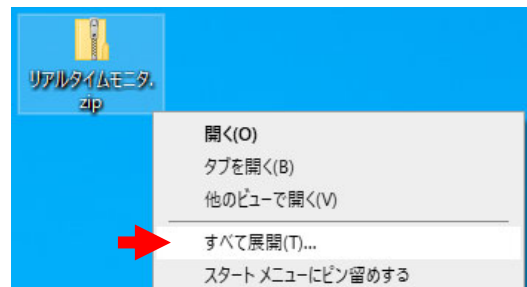
前提条件

- オリオン IoT システム「接点状態監視ソフト」、「稼働データ収集ソフト」、「稼働データ収集ソフトFCMC55A」のいずれかを使用し、CSV データを保存していることとします。
- 対象機種は、弊社ホームページの各ソフトウェアの対象機種一覧をご覧ください。
- 動作環境：Windows 10/ 11

使用前の準備

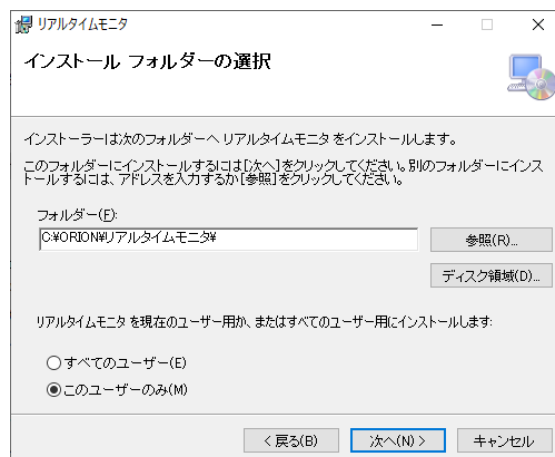
ソフトウェアをインストールする

1. インストールファイルのダウンロード
弊社ホームページから「リアルタイムモニタ」をダウンロードします。
2. インストールの開始
ダウンロードした zip ファイルを右クリックし、「すべて展開」（解凍）してください。
展開後「setup.exe」をダブルクリックするとインストールが開始されます。
3. リアルタイムモニタ ウィザード
(1) ウィザードの開始
「リアルタイムモニタ」ウィザードダイアログが表示されます。
→表示内容を確認して、「次へ」をクリックします。

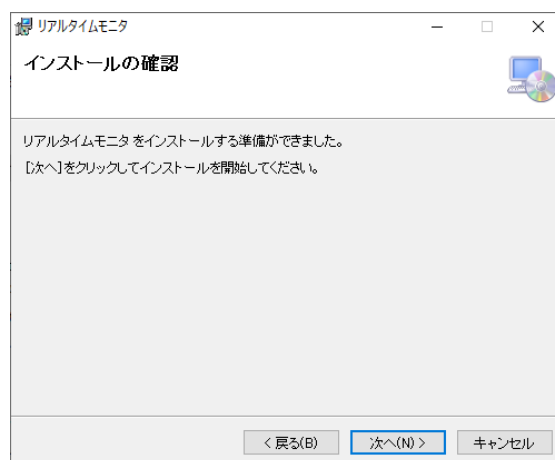


使用前の準備

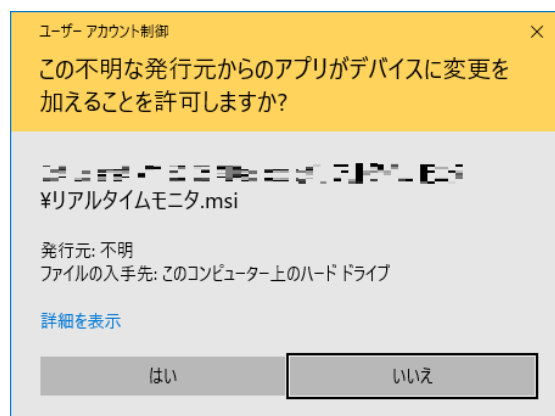
- (2) アプリケーションのインストール先の選択
「アプリケーションのインストールフォルダの選択」ダイアログが表示されます。
→「インストール先フォルダ」を確認して、「次へ」をクリックします。



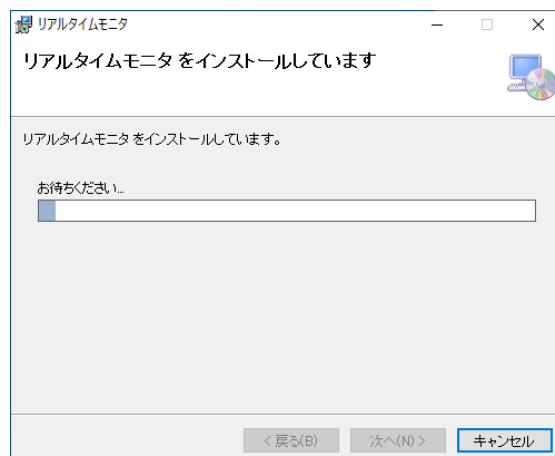
- (3) インストールの開始
→内容を確認して、「次へ」をクリックします。



- ※ユーザーアカウント制御に関する警告が出た場合には、「はい」をクリックしてインストールを継続してください。



- (4) インストールの実行
インストールの進行状況が表示されます。

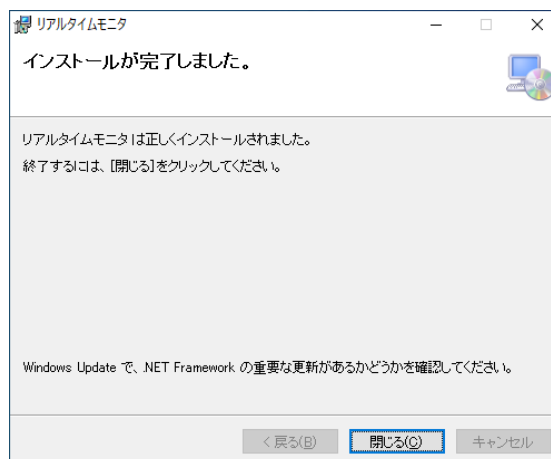


使用前の準備

(5) インストールの完了

「リアルタイムモニタ」ウィザード完了のダイアログが表示されます。

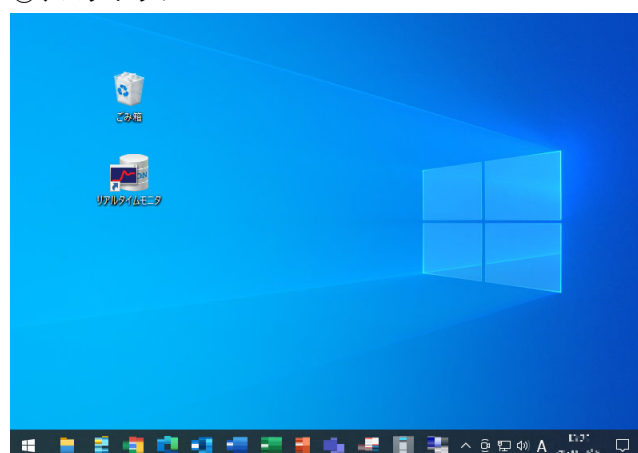
→インストールが完了しました。表示内容を確認して、「閉じる」をクリックします。



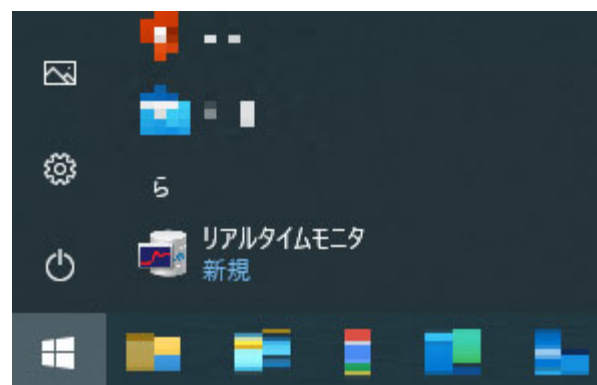
4. ショートカット自動生成

インストールが完了すると右記にショートカットが自動生成されます。

① デスクトップ



② スタートメニュー



CSV データを保存する

オリオン IoT システム「接点状態監視ソフト」、「稼働データ収集ソフト」、「稼働データ収集ソフト FCMC55A」のいずれかで CSV データを保存します。

※CSV データの保存方法は各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

操作方法

ソフトウェアを起動する

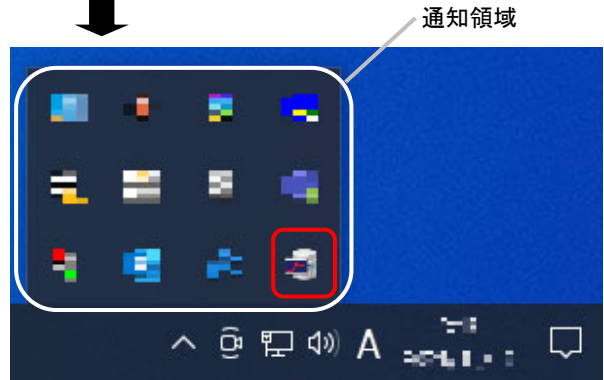
「リアルタイムモニタ.exe」アイコンをダブルクリックすると、通知領域内にアイコンが表示されます。ソフトウェアのメイン画面は表示されません。



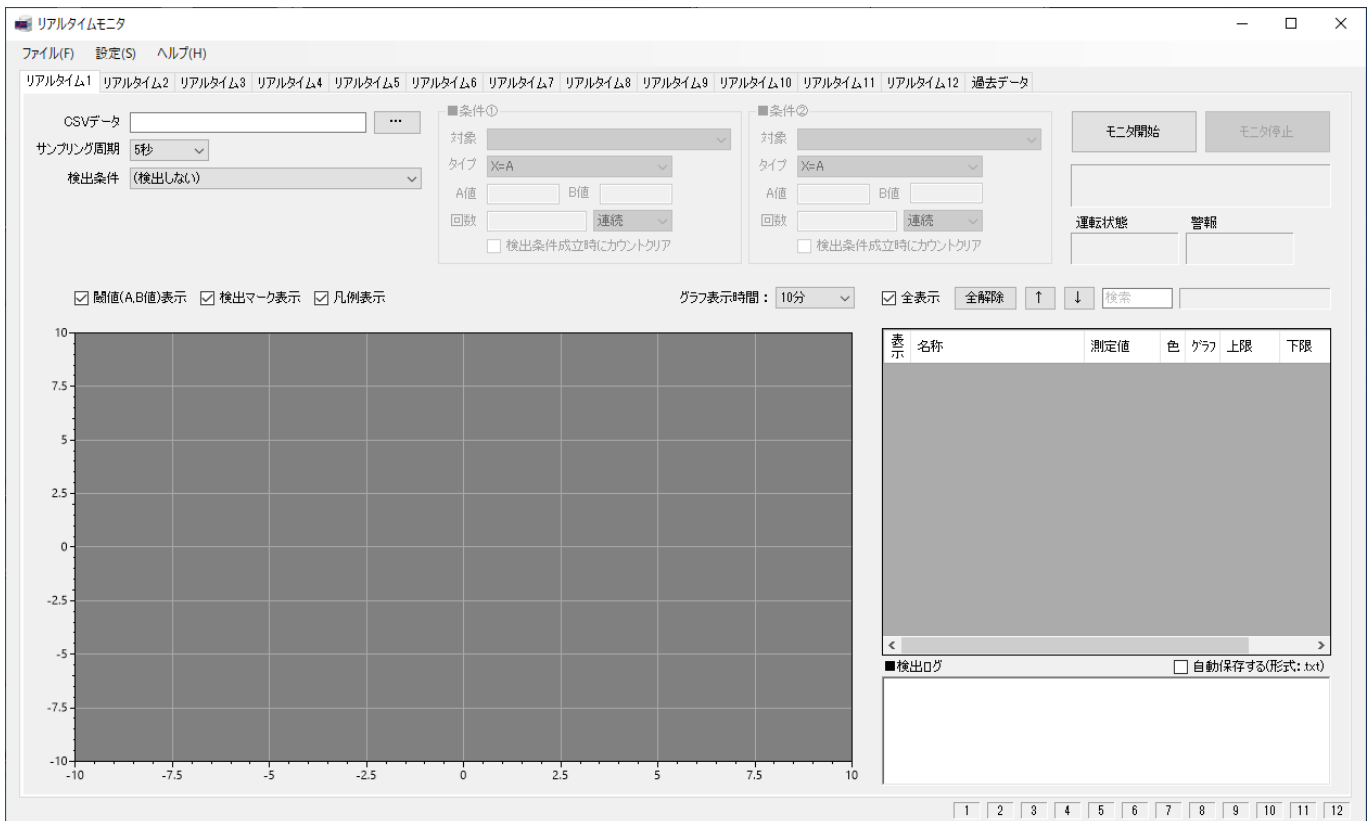
※上記操作は以下の場合に必要になります。

- ・インストール直後の起動
- ・スタートプログラムから削除した場合の起動
- ・ソフトウェア終了後の再起動

※初期設定ではパソコンの起動で自動起動します。
(自動起動が不要の場合は、スタートプログラムから削除してください)



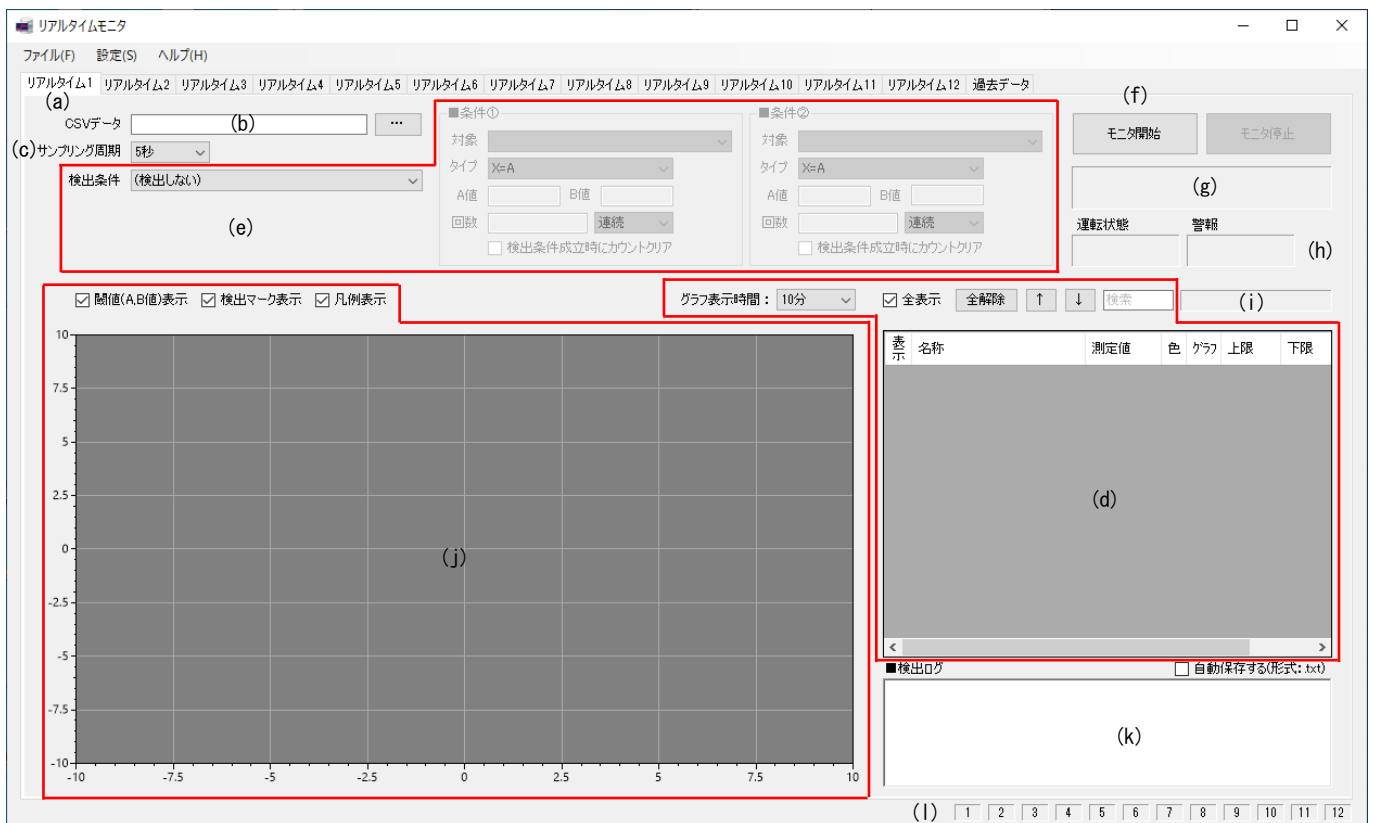
通知領域内のアイコンをダブルクリックすると、メイン画面が表示されます。



操作方法

リアルタイム表示

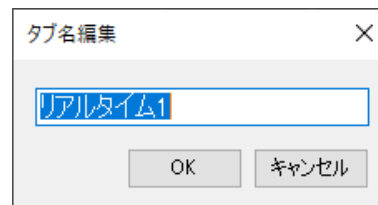
- リアルタイムのタブを開く
「リアルタイム 1」～「リアルタイム 12」のいずれかのタブをクリックします。
※同時に 12 個の GSV データのリアルタイムモニタが可能です。
- 機能
 - GSV データのリアルタイムモニタ
 - 独自に設定した条件でのデータ検出及びメール通知
※メール通知を使用したい場合は、別途「メール設定」が必要になります。
- 画面説明



(1) 設定項目

(a) タブ名

タブ名をダブルクリックすると編集画面が開き、名称の変更ができます。ログデータの名称（「ログ保存先の設定」参照）、メール本文（「メール設定」参照）、ブラウザ用データの名称（「ブラウザ閲覧設定」参照）に使用されます。



※以下の文字を使用することはできません。

- [“ ”]: 二重引用符 (ダブルクォーテーション)
- [>]: 大なり記号 (不等号)
- [<]: 小なり記号 (不等号)
- [|]: 縦線 (バーティカルライン)
- [¥]: 円記号 (バックスラッシュ含む)
- [_]: 下線符号 (アンダーバー)

- [.]: ピリオド
- [,]: カンマ
- [/]: スラッシュ
- [:]: コロン
- [*]: アスタリスク
- [?]: クエスチョンマーク

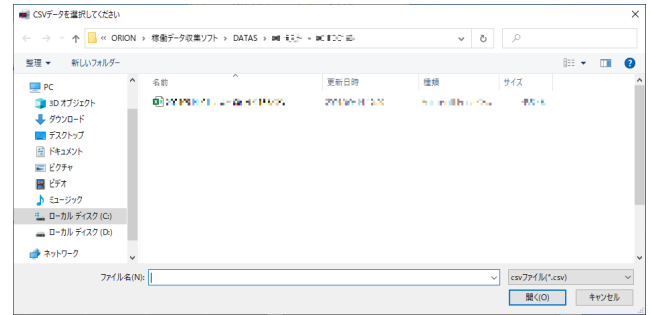
操作方法

(b) CSV データ

「…」ボタンをクリックし、モニタしたいCSVデータを選択します。

※前項の「CSV データを保存する」を先に行ってください。

※今日の日付のCSVデータのみ表示されます。表示されない場合、今日の日付のCSVデータが保存されていない可能性がありますので、ご確認ください。



(c) サンプリング周期

データの更新周期を選択します。

オリオン IoT システム「接点状態監視ソフト」、「稼働データ収集ソフト」、「稼働データ収集ソフト FCMC55A」の通信周期設定に合わせ、「5 秒」～略～「60 分」から選択してください。

※通信周期 (CSV データの保存周期) より短い周期を選択した場合、データの更新は CSV データの保存周期になります。

(d) グラフ設定

CSV データ選択後、自動で項目が追加されます。

全表示/表示 : 全表示にチェックを入れると全項目表示、チェックを外すと表示にチェックを入れた項目のみ表示します。

全選択/解除 : 「全選択」ボタンをクリックすると表示の全てにチェックが入り、「全解除」ボタンをクリックすると全てのチェックが外れます。 ※「全選択」・「全解除」ボタンは、押す毎に切り替わります。

↑/↓ : 項目の並び替えを 1 行ずつ行います。

検索 : 入力した文字列を含む名称を赤字表示します。

名称 : CSV データを読み込み、ヘッダ名 (項目名) を表示します。 ※機種によって表示項目は異なります。

測定値 : モニタ中に取得した最新データが表示されます。

色 : グラフの線色を選択します。ダブルクリックで色の変更ができます。

グラフ : チェックを入れた項目をグラフ表示します。

※表示にチェックが入っていない項目は、グラフにチェックを入れてもグラフ表示されません。

上限/下限 : グラフ縦軸の上下限值を入力します。

グラフ表示時間 : グラフ横軸の表示時間の幅を選択します。選択できる時間は「1 分」「5 分」「10 分」「20 分」「30 分」「1 時間」「2 時間」「3 時間」「4 時間」「5 時間」「6 時間」「8 時間」「10 時間」「12 時間」「24 時間」です。

※(c) サンプリング周期に応じて選択可能な表示時間の最大値が変わります。



※画像は一例です。

操作方法

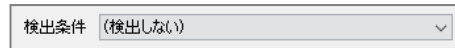
(e) 検出条件

独自の検出条件でデータ検出ができます。
※検出例は「データ検出例」をご覧ください。

[検出条件設定]

検出条件：以下のいずれかを選択します。

- ・（検出しない）：検出不要の場合に選択します。
- ・条件①成立で検出：条件①のみ検出します。
- ・条件①かつ②成立で検出：条件①, ②の AND 条件を設定したい場合に選択します。
- ・条件①または②成立で検出：条件①, ②の OR 条件を設定したい場合に選択します。
- ・条件①成立後に②成立で検出：条件①成立後に条件②のカウントを開始したい場合に選択します。条件①成立後は、条件①, ②の AND 条件となります。



[条件①, ②の詳細設定]

対象：検出対象の項目を選択します。

タイプ：データの検出エリアを選択します。

A, B値：検出エリアの境界値を入力します。

回数：検出エリアに何回入ったら検出するか入力します。

検出エリアに上記回数連続で入った際に検出したい場合は「連続」、合計回数で検出したい場合は「積算」を選択します。

検出条件成立時にカウントクリア：

チェックを入れると検出条件が成立した際に、回数のカウントがクリアされます。一度検出したらカウントし直したい場合にチェックを入れます。



(2) ボタン

(f) 「モニタ開始」、「モニタ停止」ボタン

モニタ開始：データ取得を開始します。

モニタ停止：データ取得を停止します。

(3) 表示

(g) ステータス

モニタ状態、警報状態、検出状態を表示します。

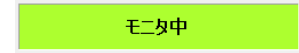
※表示の優先順位は「②<③<⑤<④」です。

※「接点状態監視ソフト」の CSV データを使用する場合は、③, ④は表示されません。

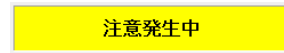
①モニタ停止中



②モニタ中



③注意発生中



④警報発生中



⑤データ検出中



(h) 運転状態、警報

CSV データの「運転状態」及び「発生中の警報」に該当するデータを表示します。

運転状態：停止中または運転中

警報：警報番号（警報発生なしの場合は空欄）

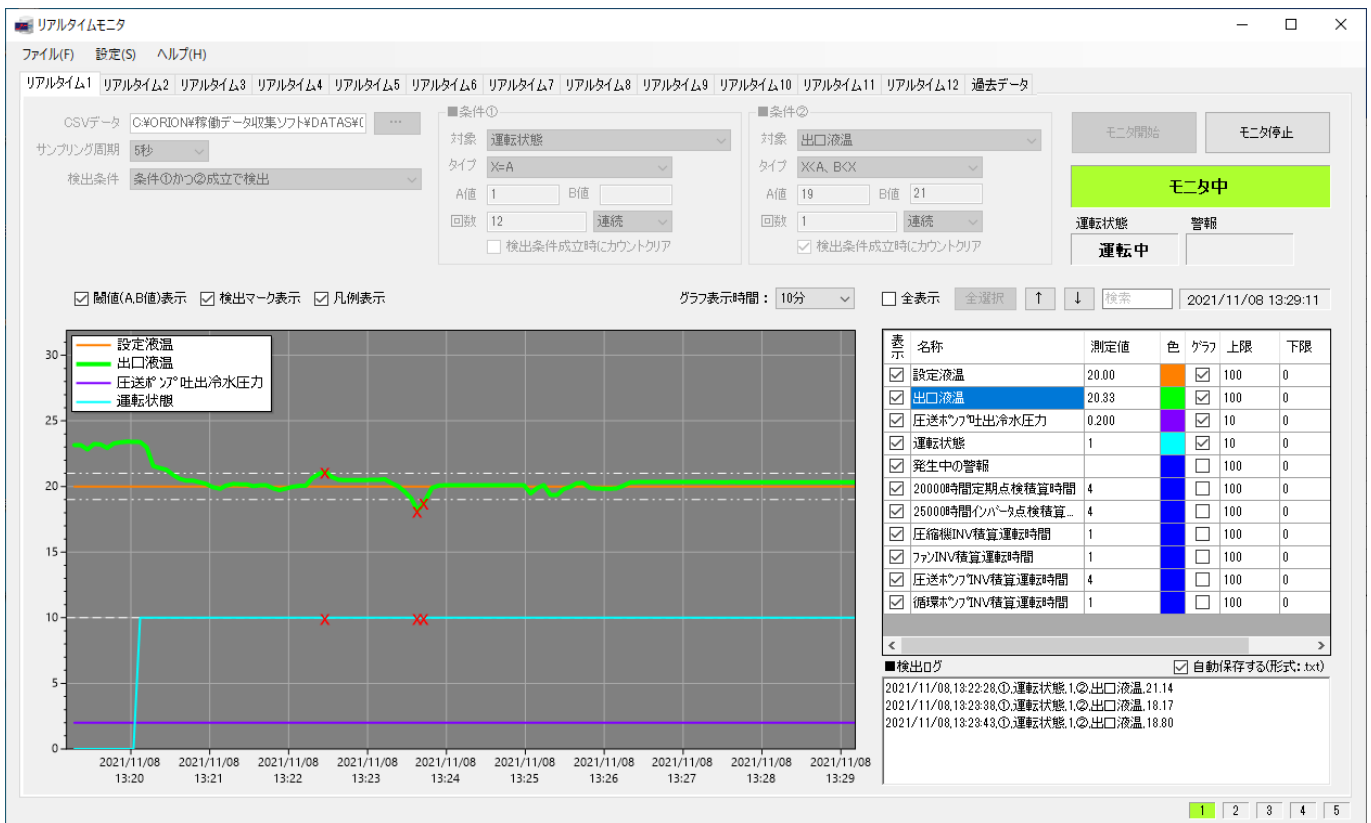
※「接点状態監視ソフト」の CSV データを使用する場合は、空欄になります。

(i) データ日時

最新データの取得日時（CSV データに記録されている日時）を表示します。

操作方法

(j) グラフ



※画像は一例です。

(d) で設定した内容でグラフ表示されます。

閾値 (A, B 値) 表示 : (e) A, B 値が直線で引かれます。

破線...条件①A, B 値
 二点鎖線...条件②A, B 値

検出マーク表示 : 検出ポイントに×印 (赤) がプロットされます。

凡例表示 : グラフの凡例が表示されます。

グラフ強調表示 : 項目名称をクリックするとグラフの線幅が太く表示されます。

※グラフの拡大・縮小等の操作については「グラフのキーボード・マウス操作」をご覧ください。

(k) 検出ログ

データを検出した際に「検出年月日, 検出時刻, ①, 対象, 検出値, ②, 対象, 検出値」のログを残します。「自動保存する」にチェックを入れると、テキスト形式 (拡張子: txt) での保存もできます。

※検出ログは 50 行に到達すると古いデータから削除されますので、古いデータを残したい場合は、テキスト形式で保存してください。

※保存先フォルダの設定及び確認方法は「ログ保存先の設定」、「ログ保存先の確認」を、保存されるデータの内容は「ログデータ」をご覧ください。

■検出ログ		<input checked="" type="checkbox"/> 自動保存する(形式: txt)
2021/11/08,13:22:28,①.運転状態,1,②.出口液温,21.14		
2021/11/08,13:23:38,①.運転状態,1,②.出口液温,18.17		
2021/11/08,13:23:43,①.運転状態,1,②.出口液温,18.80		

※画像は一例です。

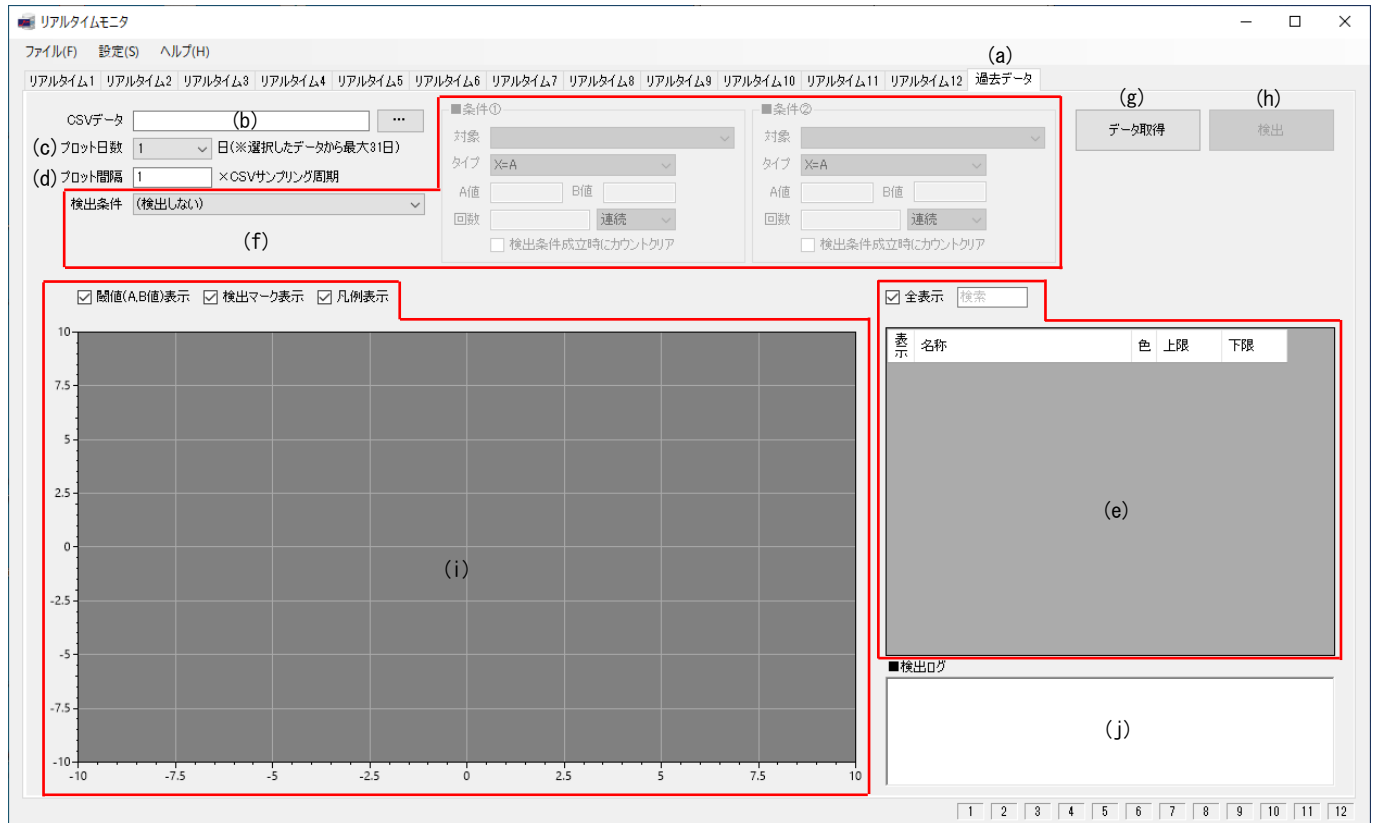
(l) 各タブのステータス

リアルタイムの全タブのステータス (色表示のみ) が確認できます。表示色は (g) と連動します。番号をクリックすると該当のタブが開きます。

操作方法

過去データ表示

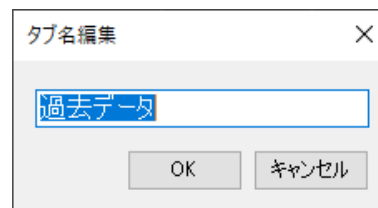
1. 過去データのタブを開く
「過去データ」のタブをクリックします。
2. 機能
 - (1) 過去の CSV データのグラフ表示
 - (2) 独自に設定した条件でのデータ検出
3. 画面説明



(1) 設定項目

(a) タブ名

タブ名をダブルクリックすると編集画面が開き、名称の変更ができます。ブラウザ用データの名称（「ブラウザ閲覧設定」参照）に使用されます。



※以下の文字を使用することはできません。

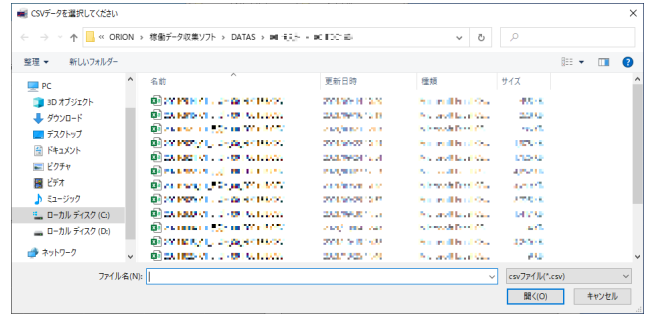
- [“ ”]: 二重引用符 (ダブルクォーテーション)
- [>]: 大なり記号 (不等号)
- [<]: 小なり記号 (不等号)
- [|]: 縦線 (バーティカルライン)
- [¥]: 円記号 (バックスラッシュ含む)
- [_]: 下線符号 (アンダーバー)

- [.]: ピリオド
- [,]: カンマ
- [/]: スラッシュ
- [:]: コロン
- [*]: アスタリスク
- [?]: クエスチョンマーク

操作方法

(b) CSV データ

「…」ボタンをクリックし、グラフ表示したい CSV データ（開始日）を選択します。
 ※前項の「CSV データを保存する」を先に行ってください。



(c) プロット日数

(b) で選択した CSV データの日付から何日分のデータをグラフ表示するか選択します。
 1~31 日分のグラフ表示が可能です。

(d) プロット間隔

データの間引き間隔を入力します。
 例：CSV データの保存周期が「5 秒」だが、「60 秒 (=1 分)」間隔でグラフ表示したい場合は「12」を入力してください。
 (入力値=表示したい間隔÷保存周期)
 ※プロット日数が多いと処理が重くなりますので、適宜、プロット間隔で調整してください。

(e) グラフ設定

CSV データ選択後、自動で項目が追加されます。
 全表示/表示：全表示にチェックを入れると全項目表示、チェックを外すと表示にチェックを入れた項目のみ表示します。表示にチェックを入れた項目のデータを取得します。
 ※5 項目まで選択できます。
 検索：入力した文字列を含む名称を赤字表示します。
 名称：CSV データを読み込み、ヘッダ名（項目名）を表示します。
 ※機種によって表示項目は異なります。
 色：グラフの線色を選択します。ダブルクリックで色の変更ができます。
 上限/下限：グラフ縦軸の上下限值を入力します。



※画像は一例です。

操作方法


(f) 検出条件

独自の検出条件でデータ検出ができます。
※検出例は「データ検出例」をご覧ください。

[検出条件設定]

検出条件：以下のいずれかを選択します。

- ・ (検出しない)：検出不要の場合に選択します。
- ・ 条件①成立で検出：条件①のみ検出します。
- ・ 条件①かつ②成立で検出：条件①, ②の AND 条件を設定したい場合に選択します。
- ・ 条件①または②成立で検出：条件①, ②の OR 条件を設定したい場合に選択します。
- ・ 条件①成立後に②成立で検出：条件①成立後に条件②のカウントを開始したい場合に選択します。条件①成立後は、条件①, ②の AND 条件となります。



検出条件 (検出しない)

[条件①, ②の詳細設定]

- 対象：検出対象の項目を選択します。
タイプ：データの検出エリアを選択します。
A, B値：検出エリアの境界値を入力します。
回数：検出エリアに何回入ったら検出するか入力します。

検出エリアに上記回数連続で入った際に検出したい場合は「連続」、合計回数で検出したい場合は「積算」を選択します。

検出条件成立時にカウントクリア：

チェックを入れると検出条件が成立した際に、回数のカウントがクリアされます。一度検出したらカウントし直したい場合にチェックを入れます。



■条件①

対象 []

タイプ X=A []

A値 [] B値 []

回数 [] 連続 []

検出条件成立時にカウントクリア

■条件②

対象 []

タイプ X=A []

A値 [] B値 []

回数 [] 連続 []

検出条件成立時にカウントクリア

(2) ボタン

(g) 「データ取得」ボタン

(e) 表示にチェックを入れた項目のデータを取得し、グラフを描画します。

※グラフの表示項目を変更したい場合は、(e) 表示のチェックを変更し、再度「データ取得」ボタンをクリックしてください。

※(b) CSV データ、(c) プロット日数、(d) プロット間隔、(e) 表示のチェックが変更されると、ボタンが「データ取得*」表示に変わり、データ取得が完了すると「データ取得」表示に変わります。

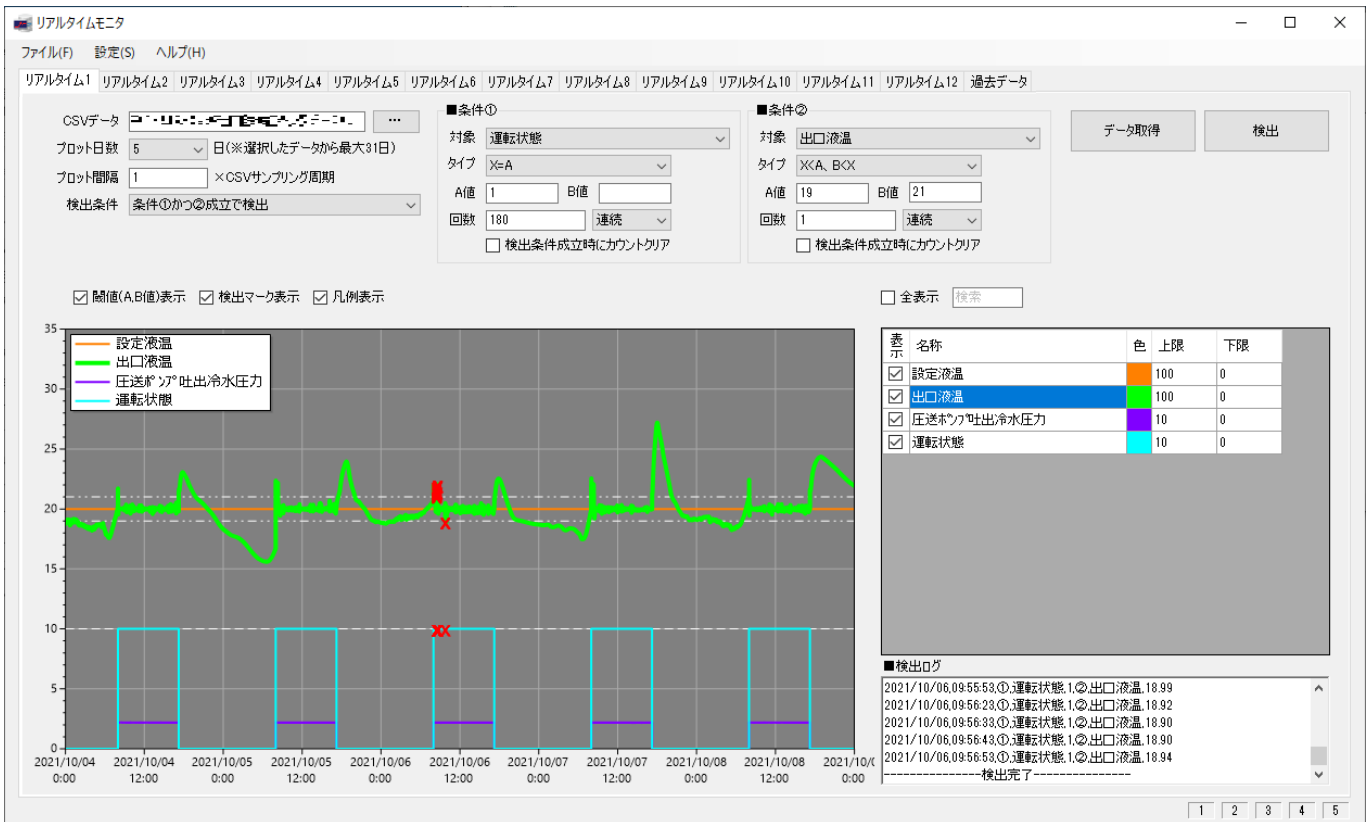
(h) 「検出」ボタン

(f) 検出条件でデータ検出を開始します。

※検出が完了すると、(j) 検出ログの最終行に「検出完了」が表示されます。

操作方法

(3) 表示 (i) グラフ



※画像は一例です。

(e) で設定した内容でグラフ表示されます。

閾値 (A, B 値) 表示 : (f) A, B 値が直線で引かれます。

破線…条件①A, B 値
二点鎖線…条件②A, B 値

検出マーク表示 : 検出ポイントに×印 (赤) がプロットされます。

凡例表示 : グラフの凡例が表示されます。

グラフ強調表示 : 項目名称をクリックするとグラフの線幅が太く表示されます。

※グラフの拡大・縮小等の操作については「グラフのキーボード・マウス操作」をご覧ください。

(j) 検出ログ

データを検出した際に「検出年月日, 検出時刻, ①, 対象, 検出値, ②, 対象, 検出値」のログを残します。

■検出ログ	
2021/10/06,09:55:53,①,運転状態,1,②,出口液温,18.99	↑
2021/10/06,09:56:23,①,運転状態,1,②,出口液温,18.92	
2021/10/06,09:56:33,①,運転状態,1,②,出口液温,18.90	
2021/10/06,09:56:43,①,運転状態,1,②,出口液温,18.90	
2021/10/06,09:56:53,①,運転状態,1,②,出口液温,18.94	
-----検出完了-----	↓

※画像は一例です。

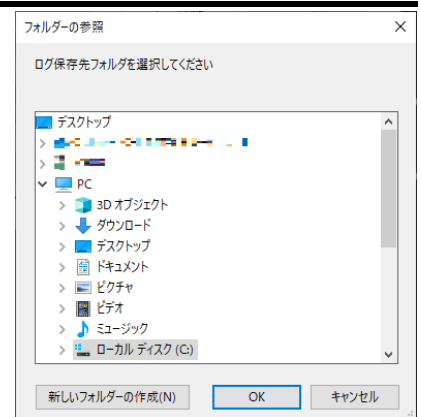
操作方法

ログ保存先の設定

メニューバーの「設定」→「ログ保存先」でフォルダダイアログが表示されますので、保存先フォルダを選択してください。

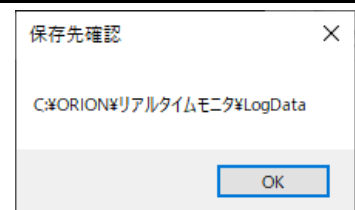
実際のログデータは下記ルールに従ったフォルダに保存されます。

¥LogData	<← 選択したフォルダ (デフォルト：実行フォルダ¥LogData¥)	} 自動で作成されます
¥リアルタイムモニタ	<← exe の名称	
¥1_リアルタイム1	<← タブ番号_タブ名	
20211108_リアルタイムモニタ_1_リアルタイム1.txt		



ログ保存先の確認

メニューバーの「設定」→「ログ保存先確認」でダイアログが開き、保存先を確認することができます。確認後は「OK」をクリックでメイン画面に戻ります。※保存先の変更方法は「ログ保存先の設定」をご覧ください。



※画像は一例です。

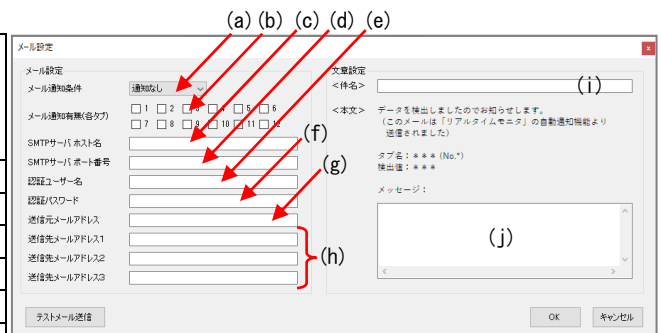
メール設定

1. 通信設定画面を開く

メニューバーの「設定」→「メール設定」をクリック

2. メール設定

(a)	メール通知条件を選択します。 [通知なし]メール通知を行いません。 [検出時]検出条件成立時にメール通知します。連続でデータを検出した場合は、初回のみメール送信されます。
(b)	各タブのメール通知有無を選択します。(リアルタイムのみ)
(c)	メール送信に利用するSMTPサーバのホスト名を入力します。
(d)	メール送信に利用するSMTPサーバのポート番号を入力します。
(e)	SMTP-AUTH認証時のユーザー名を入力します。
(f)	SMTP-AUTH認証時のパスワードを入力します。
(g)	送信元メールアドレスを入力します。
(h)	Eメールの送信先メールアドレスを入力します。(最大3件)
(i)	送信するEメールのタイトルを入力します。
(j)	送信するEメールの本文を入力します。



※使用する SMTP サーバの設定項目などは、ネットワーク管理者によく確認した上で入力してください。

3. テストメール送信を行う

「テストメール送信」をクリックすると設定した内容でテストメールを送信します。

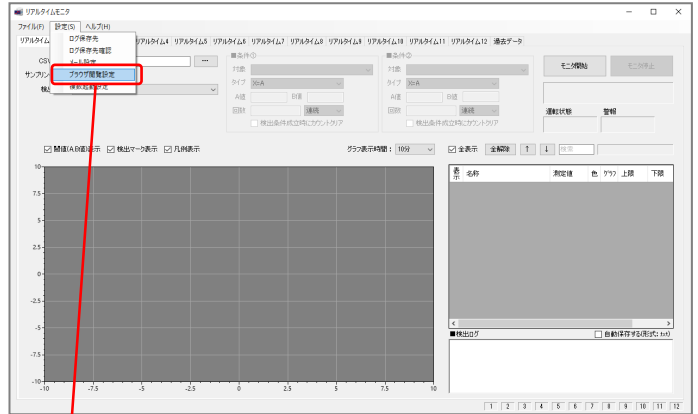
テストメールの本文には（このメールは「リアルタイムモニタ」よりテストメールとして送信されました。）と追記されます。

操作方法

ブラウザ閲覧設定

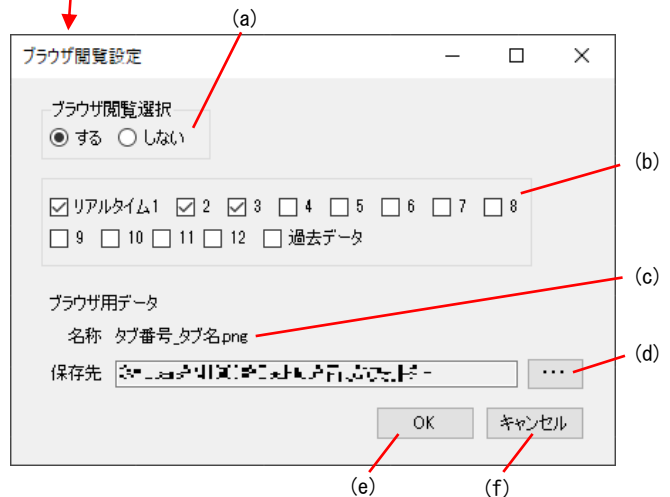
「ブラウザ閲覧ソフト」を別途ダウンロードすることにより、本ソフトウェアの画面をブラウザ上で閲覧することができます。詳細は「ブラウザ閲覧ソフト」の取扱説明書をご覧ください。本書では本ソフトウェアの設定方法のみ記載します。

1. メニューバーの「設定」→「ブラウザ閲覧設定」をクリックします。



2. ブラウザ閲覧設定

- (a) ブラウザ閲覧選択 (初期値：しない)
する：ブラウザ用データが出力されます。
しない：ブラウザ用データは出力されません。
- (b) 各タブの閲覧選択
チェックを入れたタブのみ、ブラウザ用データを出力します。
- (c) ブラウザ用データ名称
名称は「タブ番号_タブ名.png」です。
※タブ名の変更は前項「リアルタイム表示」、「過去データ表示」をご覧ください。
※次項「複数起動設定」でソフトウェアを複数起動する場合は、名称が重複するため、タブ名を変更してご使用ください。
- (d) ブラウザ用データ保存先
「…」ボタンをクリックして、ブラウザ用データの保存先フォルダを選択します。
- (e) 「OK」ボタン
設定した内容を保存してメイン画面に戻ります。
- (f) 「キャンセル」ボタン
設定内容を破棄し、前回設定のままメイン画面に戻ります。



3. ブラウザ用データの更新周期は1分です。
※ブラウザ用データ出力中はタブが自動で切り替わります。画面操作を行う場合は、「ブラウザ閲覧選択：しない」に設定してから行ってください。

操作方法

複数起動設定

モニタしたいCSVデータが12個を超える場合は、以下手順に沿って本ソフトウェアを複数立ち上げてご使用ください。

1. メニューバーの「設定」→「複数起動設定」をクリックします。

2. 複数起動設定

(a) 名称 (初期値: リアルタイムモニタ)

作成する実行ファイル(.exe)の名称を入力します。
※アプリケーション画面に表示される名称になります。すでに存在する名称は使用できません。

※以下の文字を使用することはできません。

- [“ ”]: 二重引用符 (ダブルクォーテーション)
- [>]: 大なり記号 (不等号)
- [<]: 小なり記号 (不等号)
- [|]: 縦線 (バーティカルライン)
- [¥]: 円記号 (バックスラッシュ含む)
- [_]: 下線符号 (アンダーバー)
- [.]: ピリオド
- [,]: カンマ
- [/]: スラッシュ
- [:]: コロン
- [*]: アスタリスク
- [?]: クエスチョンマーク

(b) 「作成」ボタン

(a)で入力した名称の.exeが、本ソフトウェアをインストールしたフォルダに作成されます。また、デスクトップ、スタートメニュー、スタートプログラムにショートカットが自動で作成されます。作成完了のダイアログが表示されたら完了です。

※パソコン起動時にソフトウェアの自動起動が不要な場合は、スタートプログラムから手動で削除してください。

(c) リスト

作成した.exeの名称一覧が表示されます。

(d) 「更新」ボタン

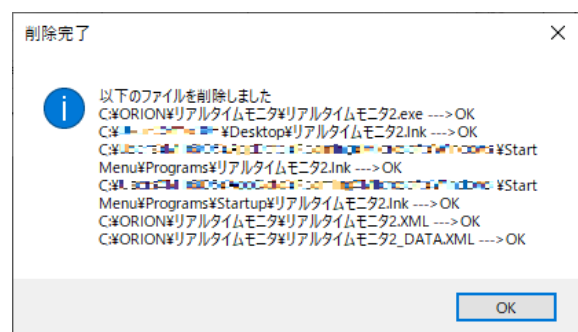
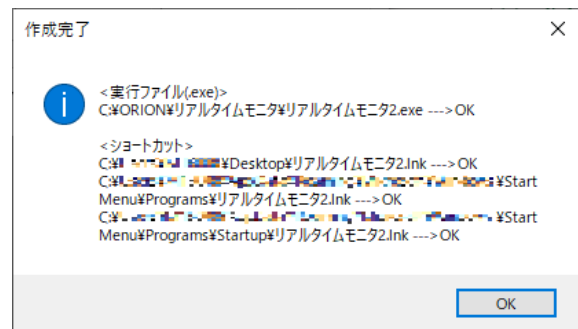
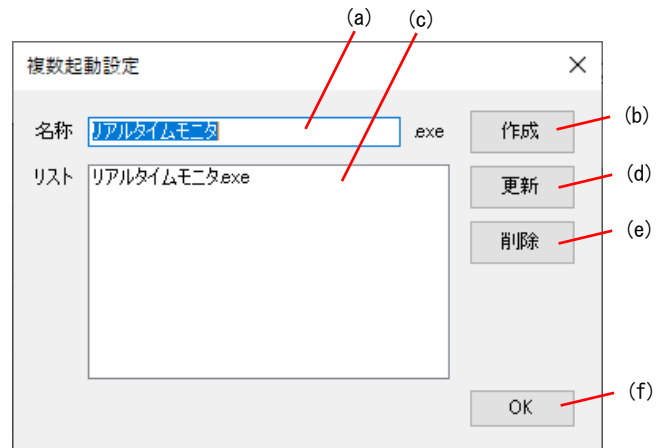
(c)のリストが更新されます。

(e) 「削除」ボタン

(c)のリストで削除したい.exeを選択し、「削除」ボタンをクリックすると、(b)で作成した.exe及びショートカットが削除されます。削除完了のダイアログが表示されたら完了です。

(f) 「OK」ボタン

メイン画面に戻ります。



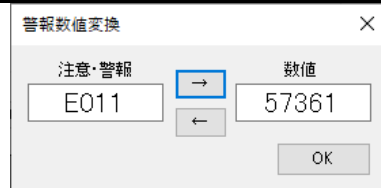
3. ソフトウェアの起動方法は前項の「ソフトウェアを起動する」と同様です。

※同じ名称の.exeは複数起動することはできません。

操作方法

警報数値変換

メニューバーの「ヘルプ」→「警報数値変換」で注意・警報と数値の相互変換ができます。
確認後は「OK」をクリックでメイン画面に戻ります。



※画像は一例です。

バージョンの確認

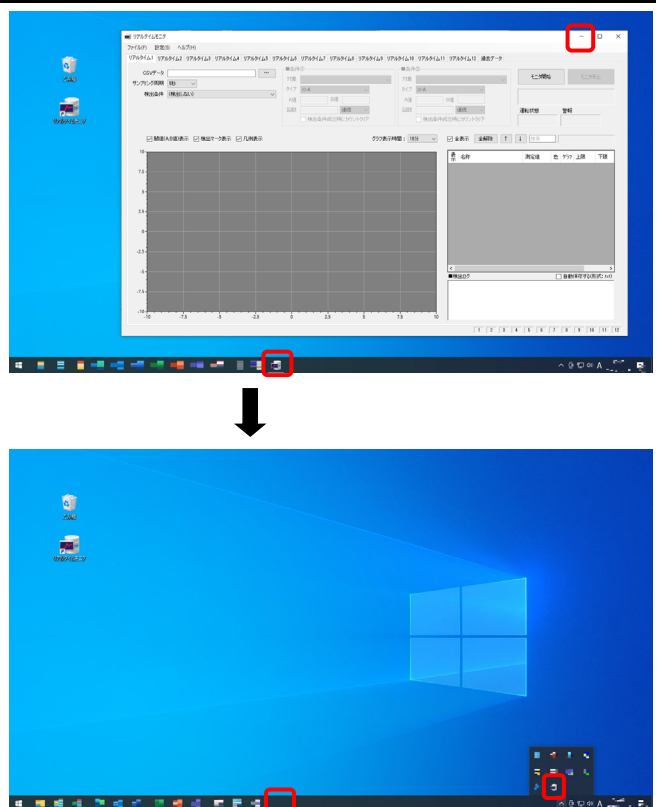
メニューバーの「ヘルプ」→「バージョン情報」で「リアルタイムモニタ」のバージョンを確認できます。
確認後は「OK」をクリックでメイン画面に戻ります。



画面の最小化

「最小化」をクリックすると、タスクバーからアイコンが消え、通知領域にアイコンが表示されます。
再度、画面表示させる場合は、通知領域内のアイコンをダブルクリックしてください。

※「ブラウザ閲覧選択：する」に設定した場合は、画面を最小化してもブラウザ用データ出力時に画面が表示されますので、最小化せず最背面にてご使用ください。



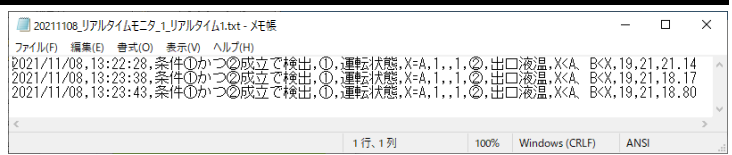
ソフトウェアの終了

メニューバーの「ファイル」→「終了」で「リアルタイムモニタ」を閉じます。

操作方法

ログデータ

「ログ保存先の設定」で記載してあるルールに従ったフォルダにログデータが保存されています。
 ログデータの並びは「検出年月日, 検出時刻, 検出条件, ①, 対象, タイプ, A 値, B 値, 検出値, ②, 対象, タイプ, A 値, B 値, 検出値」です。



※画像は一例です。

データ検出例

データの異常検知や安定判断、お知らせ等に使用できます。
 検出を即座に知りたい場合やお知らせとして使用する場合は、メール機能も併せてご使用ください。
 以下は検出例ですので、適宜、使用環境や検出内容に応じて設定値を変更してご使用ください。

1. 異常検知

(1) 温度がある範囲を外れたら検出

【詳細条件】

- ・ 出口液温が 19～21℃の範囲を外れたら検出
- ・ 1 回でも外れたら検出
- ・ 運転中のみ検出
- ・ 運転開始から 30 分間は検出しない

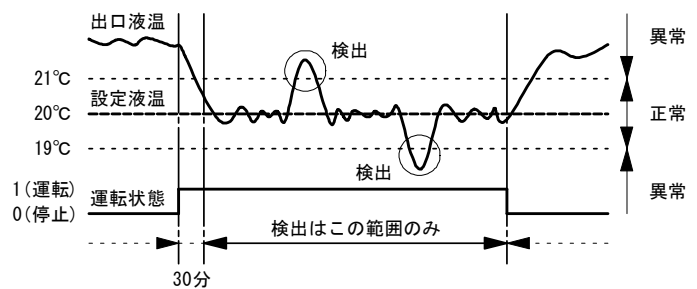
【設定】

- ・ 条件②に対象「出口液温」、タイプ(検出エリア)「X<A、B<X」、A 値「19」、B 値「21」を設定
- ・ 1 回でも外れたら検出なので、条件②の回数は「1」、「連続」を設定
- ・ 運転中のみ検出するため、条件①に対象「運転状態」、タイプ「X=A」、A 値「1」を設定
- ・ 運転開始から 30 分間は検出しないようにするため、検出条件は「条件①成立後に②成立で検出」を選択、条件①の回数は「180」(※)、「連続」を設定、「検出条件成立時にカウントクリア」のチェックは外す

※10 秒(サンプリング周期)×180(回数)=30 分

- ◆ 「圧力」「流量」等でも同様の設定でご使用いただけます。

■イメージ図



■設定

サンプリング周期 10秒

検出条件 条件①成立後に②成立で検出

■条件①		■条件②	
対象	運転状態	対象	出口液温
タイプ	X=A	タイプ	X<A, B<X
A値	1	A値	19
B値		B値	21
回数	180	回数	1
	連続		連続
<input type="checkbox"/> 検出条件成立時にカウントクリア		<input checked="" type="checkbox"/> 検出条件成立時にカウントクリア	

(2) 消費電力(瞬時値)がある閾値を超えたら検出

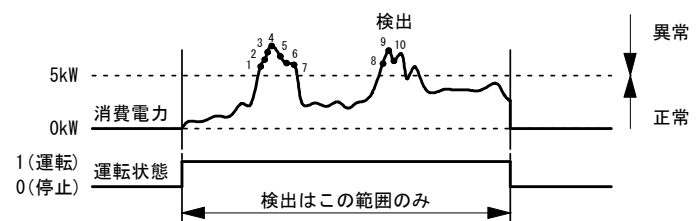
【詳細条件】

- ・ 消費電力(瞬時値)が 5kW を超えたら検出
- ・ 合計 10 回超えたら検出
- ・ 運転開始後、上記成立で検出

【設定】

- ・ 条件②に対象「消費電力」、タイプ「X>A」、A 値「5」を設定
- ・ 合計 10 回とするため、条件②の回数は「10」、「積算」を設定
- ・ 運転開始後にカウントを開始するため、条件①に対象「運転状態」、タイプ「X=A」、A 値「1」、回数「1」、「連続」を設定、検出条件は「条件①成立後に②成立で検出」を選択

■イメージ図



■設定

検出条件 条件①成立後に②成立で検出

■条件①		■条件②	
対象	運転状態	対象	消費電力
タイプ	X=A	タイプ	X>A
A値	1	A値	5
B値		B値	
回数	1	回数	10
	連続		積算
<input type="checkbox"/> 検出条件成立時にカウントクリア		<input type="checkbox"/> 検出条件成立時にカウントクリア	

操作方法

(3) 警報が発生したら検出

[詳細条件 A]

- ・ 注意「C***」・警報「E***」両方検出

[設定 A]

- ・ 条件①に対象「発生中の警報」、タイプ「X>A」、A 値「0」(※)、回数「1」、「連続」を設定、検出条件は「条件①成立で検出」を選択

※注意・警報発生なしはデータとしては空欄ですが、「0」として扱っています。

[詳細条件 B]

- ・ 警報「E***」のみ検出

[設定 B]

- ・ 条件①に対象「発生中の警報」、タイプ「A≤X≤B」、A 値「57344」、B 値「59801」(※)、回数「1」、「連続」を設定、検出条件は「条件①成立で検出」を選択

※注意・警報番号はデータとしては「C***」「E***」ですが、10進数に変換して扱っています。10進数への変換は「警報数値変換」をご使用ください。

[詳細条件 C]

- ・ 特定の警報番号(例：C007、E005)を検出

[設定 C]

- ・ 条件①、②に対象「発生中の警報」、タイプ「X=A」、回数「1」、「連続」を設定、A 値はそれぞれ「49159」、「57349」(※)を入力、検出条件は「条件①または②成立で検出」を選択

※注意・警報番号はデータとしては「C***」「E***」ですが、10進数に変換して扱っています。10進数への変換は「警報数値変換」をご使用ください。

■設定 A

検出条件 条件①成立で検出

■条件①

対象 発生中の警報

タイプ X>A

A値 0 B値

回数 1 連続

検出条件成立時にカウントクリア

■設定 B

検出条件 条件①成立で検出

■条件①

対象 発生中の警報

タイプ A≤X≤B

A値 57344 B値 59801

回数 1 連続

検出条件成立時にカウントクリア

警報数値変換

注意・警報	数値
E000	57344

OK

警報数値変換

注意・警報	数値
E999	59801

OK

■設定 C

検出条件 条件①または②成立で検出

■条件①

対象 発生中の警報

タイプ X=A

A値 49159 B値

回数 1 連続

検出条件成立時にカウントクリア

■条件②

対象 発生中の警報

タイプ X=A

A値 57349 B値

回数 1 連続

検出条件成立時にカウントクリア

警報数値変換

注意・警報	数値
C007	49159

OK

警報数値変換

注意・警報	数値
E005	57349

OK

2. 安定判断

(1) 温度がある範囲で安定したら検出

[詳細条件]

- ・ 出口液温が 19~21℃の範囲で安定したら検出
- ・ 上記範囲に 30 分連続で入ったら安定とする

[設定]

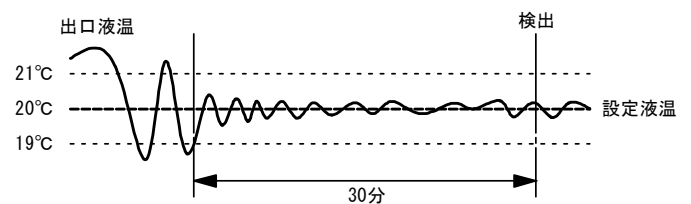
- ・ 条件①に対象「出口液温」、タイプ「A≤X≤B」、A 値「19」、B 値「21」を設定、検出条件は「条件①成立で検出」を選択

- ・ 30 分連続で入ったら検出するため、条件①の回数は「360」(※)、「連続」を設定

※5 秒(サンプリング周期)×360(回数)=30 分

- ◆ 「圧力」「流量」等でも同様の設定でご使用いただけます。

■イメージ図



■設定

サンプリング周期 5秒

検出条件 条件①成立で検出

■条件①

対象 出口液温

タイプ A≤X≤B

A値 19 B値 21

回数 360 連続

検出条件成立時にカウントクリア

操作方法

3. お知らせ

(1) メンテナンス部品の交換時期を通知

[詳細条件]

- ・ 圧送ポンプインバータの積算運転時間が交換時間 (60,000Hr) に到達したら検出

[設定]

- ・ 条件①に対象「圧送ポンプ INV 積算運転時間」、タイプ「X=A」(または「X≥A」)、A値「60000」、回数「1」を設定、検出条件は「条件①成立で検出」を選択

◆他の「メンテナンス部品の積算運転時間」でも同様の設定でご使用いただけます。

■設定

(2) 運転開始時または停止時に通知

[詳細条件 A]

- ・ 運転開始時に検出

[設定 A]

- ・ 条件①に対象「運転状態」、タイプ「X>A」、A値「0」、回数「1」、「連続」を設定、検出条件は「条件①成立で検出」を選択

◆接点状態監視ソフトで使用する場合は、対象「運転信号」、タイプ「X=A」を選択、A値は使用する接点に応じて「0」または「1」を入力してください。

■設定 A

[詳細条件 B]

- ・ 運転停止時に検出
- ・ 同時に警報発生有無を通知

[設定 B]

- ・ 条件①に対象「運転状態」、タイプ「X=A」、A値「0」、回数「1」、「連続」を設定
- ・ 運転停止時に警報発生有無を通知するため、条件②に対象「発生中の警報」を設定、常に条件を満たすように、タイプ「X≥A」、A値「0」(※)、回数「1」、「連続」を設定、検出条件は「条件①かつ②成立で検出」を選択

※注意・警報発生なしはデータとしては空欄ですが、「0」として扱っています。

◆接点状態監視ソフトで使用する場合は、対象に「運転信号」と「警報信号」を選択、条件①のA値は使用する接点に応じて「0」または「1」を入力してください。

■設定 B

グラフのキーボード・マウス操作

1. グラフ画面の拡大

グラフ上で右クリック→「Open in New Window」クリックで別画面が開き、画面サイズを自由に変更することができます。
※グラフはアプリケーション画面に連動します。

2. グラフの軸移動、拡大・縮小

キーボード操作	+	マウス操作	→	動作
		左クリック+ドラッグ	→	縦/横軸の移動
[Ctrl]キー	+	左クリック+ドラッグ	→	横軸の移動
[Shift]キー	+	左クリック+ドラッグ	→	縦軸の移動
		右クリック+ドラッグ	→	拡大・縮小
		ホイールスクロール	→	拡大・縮小
		ホイールクリック+ドラッグ	→	領域拡大
[Alt]キー	+	左クリック+ドラッグ	→	領域拡大
[Ctrl]キー	+	右クリック+ドラッグ	→	横軸クリック部を中心に拡大・縮小
[Shift]キー	+	右クリック+ドラッグ	→	縦軸クリック部を中心に拡大・縮小
[Ctrl]キー+[Shift]キー	+	右クリック+ドラッグ	→	縦/横軸クリック部を中心に拡大・縮小
		ホイールクリック	→	データに合わせて拡大

NOTE

NOTE

NOTE



オリオン機械株式会社

https://www.orionkikai.co.jp

当社製品に関するお問合せ・資料請求は

お客様相談センター



0120-958-076

受付時間 平日 9時~17時

✉ sijo@orionkikai.co.jp

FAX 026-246-6753

CSセンター：札幌・仙台・太田・横浜・諏訪・名古屋・大阪・岡山・福岡

本社・工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246

更 埴 工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291

千 歳 工場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16

北海道オリオン株式会社(札幌) 011-865-3666	オリオン機械株式会社(諏訪) 0266-58-7535
中央オリオン株式会社(盛岡) 019-641-4554	オリオン機械株式会社(沼津) 055-929-0155
中央オリオン株式会社(仙台) 022-284-0691	オリオン機械株式会社(浜松) 053-464-4737
中央オリオン株式会社(郡山) 024-963-1051	オリオン機械株式会社(刈谷) 0566-62-4377
オリオン機械株式会社(東京) 03-6811-7711	オリオン機械株式会社(名古屋) 0587-21-1717
オリオン機械株式会社(八王子) 042-631-5561	オリオン機械株式会社(金沢) 076-263-1881
オリオン機械株式会社(横浜) 045-934-7011	オリオン機械株式会社(大阪) 06-6305-1414
オリオン機械株式会社(千葉) 043-221-7788	オリオン機械株式会社(京都) 075-646-3939
オリオン機械株式会社(太田) 0276-46-7678	オリオン機械株式会社(神戸) 078-945-5508
オリオン機械株式会社(さいたま) 048-783-3975	オリオン機械株式会社(岡山) 086-246-3501
オリオン機械株式会社(宇都宮) 028-688-0020	オリオン機械株式会社(広島) 082-264-4535
オリオン機械株式会社(つくば) 029-850-3633	オリオン機械株式会社(高松) 087-835-1367
オリオン機械株式会社(新潟) 025-257-7006	西日本オリオン株式会社(福岡) 092-477-8480
オリオン機械株式会社(長野) 026-248-2428	西日本オリオン株式会社(熊本) 0968-38-7311
	西日本オリオン株式会社(鹿児島) 099-263-5275

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買いあげ日		製造番号	
販 売 店 名		店名	
		電話 () -	

No. 7142 2024. 1. 12 C T. G. J. F.